

# 中国四国地区 鋳鋼コース 講義カリキュラム

開催日程：平成24年6月8日(金)～12月8日(土)の内12日間

開催場所：広島県鋳物工業協同組合（広島市西区横川新町8番25号）

うち7月7日(土)は広島市工業技術センター（広島市中区千田町3丁目8番24号）

専門講義会場：機械振興会館（東京都港区芝公園3丁目5番8号）

黄色の網掛けは鋳鋼コースの専門講義です。鋳鉄、銅合金、軽合金コースの方は受講しません。

コマ	日程	時間	区分	科目・内容	講師(予定)
		11:00～12:00		開校式・オリエンテーション	
1	6月8日 (金)	13:00～15:00	共通1	鋳造概論	木口昭二(近畿大学)
2		15:15～17:15	共通2	状態図の基礎	旗手 稔(近畿大学)
3	6月9日 (土)	10:00～12:00	共通3	鉄系鋳物概論(鋳鉄・鋳鋼)	小西正明(広島工大)
4		13:00～15:00	共通4	非鉄鋳物概論(軽合金・銅合金)	木谷 実(シンコー)
5		15:15～17:15	共通5	生型の鋳型用材料と造型法	黒川 豊(ツチヨシ産業)
6	7月6日 (金)	13:00～15:00	共通6	生型以外の鋳造用材料(自硬性、シェル、コールドボックス、CO2)と造型法	前田安郭(海上保安大学)
7		15:15～17:15	共通7	模型製作(CAD/CAM、RPを含む)	糸川信哉(今西製作所)
8	7月7日 (土)	10:00～12:00	共通9	コンピュータシミュレーション概論	木下慎一(クオリカ)
9		13:00～15:00	地区1	CAEによる鋳造方案と引け巣予測	木下慎一(クオリカ)
10	8月22日 (水)	9:50～11:50	専門1	状態図と凝固	新山英輔(元東北大学教授)
11		12:50～14:50	専門2	製鋼アーク炉操業	糸藤春喜(東北大ACS)
12		15:00～17:00	専門3	製鋼誘導炉操業	来栖直敏(日本鋳造)
13	8月23日 (木)	9:45～11:45	専門4	中大鋳物造型	神田英喜(川口金属工業)
14		12:45～14:45	専門5	量産鋳物造型	佐藤一広(福島製鋼)
15		15:00～17:00	専門6	鋳造方案	久保晴義(神戸製鋼)
16	8月24日 (金)	9:45～11:45	専門7	鋳鋼の用途・展望	清水一道(室蘭工大)
17		12:45～14:45	専門8	低合金・特殊鋳鋼	麻生節夫(秋田大学)
18		15:00～17:00	専門9	ステンレス鋳鋼	宗 光彦(伊藤機工)
21	8月25日 (土)	9:45～11:45	専門12	鋳鋼の欠陥と対策	小林良紀(小林技術士事務所)
20		12:45～14:45	専門11	鋳仕上げ・溶接	松井正毅(松井技術士事務所)
19		15:00～17:00	専門10	熱処理・調質	山田恒二(西島製作)
予備	10月5日 (金)				
22	11月2日 (金)	13:00～15:00	管理1	生産管理	長坂悦敬(甲南大学)
23		15:15～17:15	管理2	原価管理	長坂悦敬(甲南大学)
24	11月3日 (土)	10:00～12:00	管理5	設備管理	平田 実(新東工業)
25		13:00～15:00	管理4	安全・衛生管理、環境管理(省エネルギーを含む)	谷 義紀(クボタ)
26		15:15～17:15	管理3	品質管理(TQC、検査法)	佐川述史(ヨシワ工業)
27	12月7日 (金)	13:00～15:00	地区2	消失模型鋳造法・造型法、鋳造方案と不良対策	山本康雄(ツチヨシアクティ)
28		15:15～17:15	共通8	鋳造品の品質保証と非破壊検査	野村芳彦(エムジープレシジョン)
29	12月8日 (土)	10:00～12:00	地区3	鋳鉄鋳造概論(キュボラ溶解理論と実際)	田中祐一(マツダ)
30		13:00～15:00	地区4	鋳鉄溶解概論(誘導炉溶解と実際)	佐野弘明(三菱重工交通機器エンジニアリング)
予備	12月15日 (土)				

# 鑄鋼コース インターンシップ（4地区合同）

開催日程：平成25年2月25日（月）～3月1日（金）

開催場所：(株)クボタ教育センター（兵庫県尼崎市）、枚方研修所、山川産業(株)

月日	時間	項目	実習内容と目的	講師(予定)
1日目	9:00～	安全教育	01) 開講・オリエンテーリング ・講座内容、集合場所、注意点等の連絡	小西 邦彦(小西技術士事務所) クボタ クボタ教育センター
			02) 安全教育 ・安全教育の実施と合意確認書への署名	
	10:00～	砂混練・造型	03) 鑄型(生砂型 or CO2 型)の造型 ・水分の影響、方案(堰サイズ・位置、押湯形状)の影響を見る型を造型する ・造型した生砂型 or CO2 型の評価をおこなう	クボタ教育センター クボタ
	16:00～	溶解	04) 配合計算 ・原材料の成分、副資材の歩留り、配合計算の手順を学習する	日根野 実(クボタ) クボタ教育センター
2日目	9:00～	溶解・鑄込み	05) 溶解・鑄込み ・炉前分析と成分調整を体験する ・温度測定、バーテスト、鑄込みを体験する ・誘導炉の特性、地金管理の重要性を知る	クボタ教育センター 日根野 実(クボタ)
	14:00～	型バラシ・ 外観検査	06) 型バラシ、外観検査 ・湯口方案の良否を検分する ・外観検査の判定法と判定基準を学ぶ	クボタ教育センター 小谷 正典(クボタ)
	16:00～	品質	07) 特性要因図と品質対処法 ・現物から不良原因を推定する ・特性要因図を作成し対策を立案する ・CO2 型の造型条件を振らせた目的を知る	小谷 正典(クボタ) クボタ教育センター
3日目	9:00～	CAE (堀川紀孝氏)	11) 鑄造シミュレーション ・鑄造シミュレーションの概要と手順を学ぶ ・鑄鋼事例紹介より鑄造 CAE の現状と課題を知る	堀川 紀孝(旭川工業高等専門学校)
	13:00～	組織観察	08) 組織観察用試料の作製 ・試料観察面の粗度を判定する 09) 顕微鏡組織観察(金属組織) ・熱処理材含め、各種鑄鋼の組織を知る	日根野 実(クボタ) クボタ教育センター
	14:30～	材料試験	10) 材料試験 ・引張試験、衝撃試験、硬度試験の方法と機器の適用例を学ぶ ・各条件材(鑄鋼材料)の材料特性を知る	日根野 実(クボタ) クボタ教育センター
4日目	9:00～ 17:00	溶接補修(株)クボ タ枚方研修所)	12) 鑄仕上のための溶接補修 ・溶接作業に係る安全教育と合意確認書へ署名 ・溶接方法と機器の概要を学ぶ ・溶接割れの観察、原因および対策を学ぶ ・溶接実習(JIS Z3801に基づくA-2Fで試験片作製、作成した試験片の放射線透過試験を実施 ・溶接補修の予備試験の重要性、溶接補修部の検査方法を学ぶ	松井 正毅(松井技術士事務所) 坂本 伸之(クボタ)
5日目	9:00～	鑄物砂砂試験 (山川産業(株))	13) 鑄物砂と専門的な砂試験 ・生型砂と自硬性砂の砂試験法を学ぶ ・砂(人工砂含む)の特性(成分、形状等)を知り、射型への影響を学ぶ ・鑄鋼への人工砂適用のポイントを知る。	易 宏治(山川産業(株))
	13:00～	まとめ	15) 実習のまとめ・結果発表・質疑応答 16) 実習全体のまとめと閉講の挨拶 ・受講者の感想・要望を聞く	小西 邦彦(小西技術士事務所) クボタ クボタ教育センター

# 平成 24 年度 鑄造カレッジ カリキュラム

## 共通科目

	科目	テキスト科目	講師（予定）			
			北海道地区	関東地区	中部地区	中国四国地区
全地区共通科目 共通科目	共通 1	鑄造概論	堀江皓 （岩手大学名誉教授）	中江秀雄 （早稲田大学）	野村宏之 （名古屋大学名誉教授）	木口昭二 （近畿大学）
	共通 2	状態図の基礎	中江秀雄 （早稲田大学）	中江秀雄 （早稲田大学）	藤川貴朗 （三重県工業研究所）	旗手 稔 （近畿大学）
	共通 3	鉄系鑄物概論 （鑄鉄・鑄鋼）	伊藤義浩 （日鋼キャストイング）	鈴木克美 （ものつくり大学）	原 敬道 （コマツキャストックス）	小西正明 （広島工業大学）
	共通 4	非鉄鑄物概論 （軽合金・銅合金）	鞘師守 （北見工業大学）	手塚裕康 （東京工業大学）	岩堀弘昭 （豊田中央研究所）	木谷 実 （シンコー）
	共通 5	生型の鑄型用材料と造型法	佐藤和則 （アイメタルテクノロジー）	佐藤和則 （アイメタルテクノロジー）	村川 悟 （三重県工業研究所） 曾根孝明（瓢屋）	黒川 豊 （ツチヨシ産業）
	共通 6	生型以外の鑄型用材料（自硬性鑄型，シェル，コールドボックス，CO2）と造型法	橋本邦弘 （新東工業）	橋本邦弘 （新東工業）	富永恭爾 （旭有機材工業）	前田安郭 （海上保安大学）
	共通 7	模型製作（CAD / CAM、RPを含む）	戸羽篤也 （北海道立工業試験場）	田口 順 （田口型範）	金原昌浩 （木村鑄造所）	糸川信哉 （今西製作所）
	共通 8	鑄造品の品質保証と非破壊検査	清水一道 （室蘭工業大学）	鹿毛秀彦 （日下メタル研究所）	平野春好 （元豊田自動織機）	野村芳彦 （エムジープレシジョン）
	共通 9	コンピュータシミュレーション概論	戸羽篤也 （北海道立工業試験場）	朝尾浩光 （EKK ジャパン）	牧野泰育 （新東工業）	木下慎一 （クオリカ）

到達目標

		科目	テキスト科目	キーワード	内容・到達目標
全地区共通科目	共通科目	共通 1	鑄造概論	鑄造技術史、凝固、偏析、核生成、溶湯流動、凝固組織	鑄造技術の歴史と発展を知り、先人の知恵に学ぶ。溶湯の鑄型充てんから凝固完了までの物理的变化、種々の要因、機構を述べ、それらと鑄物性状との関連の理解と問題因子追究力の向上を図る。
		共通 2	状態図の基礎	合金状態図、二元および多元系、平衡、凝固点、相変態	平衡状態図とは何か、熱力学との関係、相律とてこの法則などについて平易に述べる。共晶反応、凝固による相変態などについて理解を深め、状態図からの情報収集力を高める。
		共通 3	鉄系鑄物概論（鑄鉄・鑄鋼）	鑄鉄の JIS、組織、化学成分、鑄鉄の長所短所。鑄鋼の用途別 JIS（機械的性質）、組織、化学成分、熱処理	各種鑄鉄の JIS にある機械的性質・組織・化学成分を述べ、各々の特徴（長所・短所）を理解する。鑄鋼についても用途別 JIS にある機械的性質・組織・化学成分を述べ、各々の特徴（長所・短所）を理解する。
		共通 4	非鉄鑄物概論（軽合金・銅合金）	アルミニウム合金鑄物の用途別 JIS（機械的性質）、組織、化学成分、熱処理、長所短所。銅合金鑄物の用途別 JIS（機械的性質）、組織、化学成分、熱処理、長所短所	各種鑄アルミニウム合金鑄物の JIS にある機械的性質・組織・化学成分・熱処理を述べ、各々の特徴（長所・短所）を理解する。銅合金についても用途別 JIS にある機械的性質・組織・化学成分を述べ、各々の特徴（長所・短所）を理解する。
		共通 5	生型の鑄型用材料と造型法	鑄物砂、生型砂添加剤、副資材、生型特性、砂管理、造型法、欠陥	生型造型に必要な砂（天然砂、人造砂、人工砂）、添加物等の材料特性、造型法に関する基本事項について学び、生型造型の理解を深める。鑄型砂性質と鑄物性状との関連について知識を得、砂起因欠陥の考察力を高める。
		共通 6	生型以外の鑄型用材料（自硬性鑄型、シェル、コールドボックス、CO <sub>2</sub> ）と造型法	自硬性、シェルモールド、コールドボックス、ガス硬化型、砂管理、バインダー、硬化反応	各種自硬性鑄型、シェル鑄型、ガス硬化鑄型等の鑄型の特性、バインダー・硬化剤等の材料及び硬化機構、砂試験・管理方法、造型法と鑄型特性の理解を深め、その性質が鑄物に与える影響、欠陥と対策について考察力を高める。
		共通 7	模型製作（CAD / CAM、RP を含む）	CAD、CAM、工程合理化、コンピュータ設計、自動化、RP	鑄造に用いる模型の設計・製作に当たり、CAD、CAM 導入の考え方、条件、模型製作工数の減少、寸法精度アップなど、導入のメリットと問題点について述べ理解の向上を図る。
		共通 8	鑄造品の品質保証と非破壊検査	ISO、JIS、品質保証、非破壊検査方法、表面欠陥検査、内部欠陥検査、信頼性向上	製品品質に及ぼす要因は多岐にわたるが、その中で ISO、JIS の規格を満足し、品質均一化とその向上を図るポイントや非破壊検査方法とそれによる品質保証例を述べる。鑄造品の信頼性向上のための能力を高める。
		共通 9	コンピュータシミュレーション概論	CAD データ、CAE、湯流れ解析、流動と伝熱、凝固解析、不良対策、一発立ち上げ	客先からの CAD データを CAE に使い鑄造時における湯流れ、凝固等を事前にシミュレートし、試行錯誤で新規品を立ち上げるのではなく一発で良品を造っていくことができるようになってきた。その CAE の基礎を学ぶ。

## 管理科目

	科目	テキスト科目	講師（予定）				
			北海道地区	関東地区	中部地区	中国四国地区	
全地区共通科目	管理科目	管理 1	生産管理	長坂悦敬 （甲南大学）	長坂悦敬 （甲南大学）	干場俊昌 （元三菱電機）	長坂悦敬 （甲南大学）
		管理 2	原価管理	長坂悦敬 （甲南大学）	長坂悦敬 （甲南大学）	高木 浩 （クロダイト工業）	長坂悦敬 （甲南大学）
		管理 3	品質管理 （TQC、検査法）	竹花奎一 （元トヨタ自動車）	小林良紀 （小林技術士事務所）	平野春好 （元豊田自動織機）	佐川述史 （ヨシワ工業）
		管理 4	安全・衛生管理、環境管理 （省エネルギーを含む）	吉田隆男 （吉田隆男技術士事務所）	今村哲郎 （元・日立金属）	堀江孝男 （岡本）	谷 義紀 （クボタ）
		管理 5	設備管理	橋本邦弘 （新東工業）	田村浩一 （アイメタルコージー）	富田英一 （アイシン高丘）	平田 実 （新東工業）

## 到達目標

	科目	テキスト科目	キーワード	内容・到達目標	
全地区共通科目	管理科目	管理 1	生産管理	生産管理、工程管理、全体最適化	鋳物工場の経営管理についての基本的な考え方、生産管理および工程管理についての理論、技法を紹介し、各論および全体最適化のためのアプローチについて理解を深める。
		管理 2	原価管理	標準原価計算、原価差異分析、原価低減活動	原価の意味、原価管理の目的を紹介し、標準原価計算や原価差異分析などの原価管理の手法を説明する。さらに原価低減活動の進め方について理解を深める。
		管理 3	品質管理 （TQC、検査法）	方針管理、工程管理（PDCA）、QC7つの道具、作業標準、品質指標	経営管理上必要な品質管理の意義、PDCA、作業標準（品質）、QC7つの道具、各種品質指標の把握・管理など品質に関する基本事項について実例を交えて解説し、理解を深める。
		管理 4	安全・衛生管理、環境管理 （省エネルギーを含む）	労働災害防止、労働安全衛生法、KY活動、リスクアセスメント、安全管理、公害、省エネ対策、省資源、環境経営	労働安全衛生法、同関係法令の解釈と事業者及び管理監督者の責任を理解する。また、公害防止や環境関連法規の体系、環境保全管理に関連し ISO14001 登録の必然性と省資源・省エネルギー対策を学ぶ。
		管理 5	設備管理	PM、TPM、設備管理、点検表、稼働率	工場を効率よく稼働させるには、設備を点検表できちんと点検し、故障してから直すのではなく、事前にきちんと設備を管理していくことが必要である。また、故障しないような改善も重要である。

## 地区別科目

		科目	テキスト 科目	キーワード	内容・到達目標	講師（予定）
地区別科目	北海道	北海道 地区 1	鋳鉄製品の熱 処理	ADI、熱処理、材 質改善、鋳鉄品 の強度・延性	鋳鉄の熱処理を考える上で、鋼の熱処理との差異を化学組成等の観点から正しく認識し、鋳鉄の材料特性と熱処理プロセスにおける留意点を学ぶ。特にオーステンパー熱処理で得られるADIの品質上の優位性、水分の影響、その対策等に関する知識を得る。	長船康裕 （室蘭工業大学）
		北海道 地区 2	鋳鉄の強度、 破壊事例	金属材料の強 度・靱性、荷重と 応力、破壊、疲 労、最適設計	金属材料の特徴を概観した上で、鋳物作りに用いられる様々な金属材料の機械的性質の特性を理解する。また、金属部品の破壊事例を研究することにより、その破壊原因を解析し鋳物を含む金属製品の設計に役立てる。	野口 徹 （室蘭工業大学）
		北海道 地区 3	薄肉球状黒鉛 鋳鉄の製造法 とその原理	溶存酸素、レ ア・アース、イ ン・モールド、 注湯流接種	肉厚2mmの球状黒鉛鋳鉄を製造する際の溶湯処理、接種法について述べる。溶湯中の酸素制限法、Ca系接種剤とレア・アース低減との関係について理解を深める。	桃野 正 （室蘭工業大学）
		北海道 地区 4	自動車産業に おける鋳造技 術の展望	自動車産業、鋳 物部品の高品質 化、軽量化、量 産技術、生産コ スト	自動車用部品に要求される品質と、それを実現するための技術や生産体制の改善などの事例紹介を通して、今後の自動車産業の行方と鋳物製品需要の見通しについて知見を得る。	未 定 （トヨタ自動車）
	関東	関東 地区 1	ダイカスト概 論	ダイカスト（A l合金、Mg合 金）金型、ダイ カストマシン、 スリーブ、後加 工	アルミニウム合金およびマグネシウム合金のダイカストについて、材質と用途、製造プロセスの特徴および材料と組織、得られる品質・特性などについての基礎的な理解を得る。	西 直美 （日本ダイカスト 協会）
		関東 地区 2	多品種少量生 産の生産・工 程管理改善	多品種少量、コ ンピュータによ る管理、模型管 理、消失模型、 改善	多品種で各々が少量である生産は、溶湯材質の多様化、鋳枠の多サイズ化、模型の管理等々色々な問題がある。これらをいかに管理するかについて学び、生産・工程管理における改善の進め方の理解を深める。	木村寿利 （木村鋳造所）
		関東 地区 3	溶解原材料の 汚染対策	高張力鋼板、亜 鉛引き鋼板、Mn、 P、Zn計、自動化	鋼板が高張力化し、Mn、P等の含有率が高くなり、また、亜鉛引き鋼板も多くなりZnが高くなった。このような溶解原材料の成分の変化に対して、どうすべきかを学ぶ。	佐藤万企夫 （日本鋳造工学会）
		関東 地区 4	人事管理（人 材育成、目標 管理、技術の 伝承を含む）	人事、やる気、 目標管理、技術 の伝承	会社は人の集まりでこれらの人々が、いかにやる気になり、会社を発展させていくかである。やる気にさせるには目標管理等は有効な手段である。また、会社の技術・技能は伝承されていかなばならない。企業の組織と人事管理のあり方、進め方について学ぶ。	正久哲也 （日立金属）

	科目	テキスト 科目	キーワード	内容・到達目標	講師（予定）
中部	中部 地区 1	ケーススタ ディ(1) 鑄鉄 及び造型(木 村鑄造所にお ける見学と討 論)	工場管理、効率 化、人材育成、 5S、観察力	1, 工場見学を通し、現場技術の 改善とその考え方を学習し議 論する 2, 受講生の観察力の向上と疑問 点に関し、議論し改善策を提 案する 3, その他(講師からの演習)	菅野利猛 (木村鑄造所)
	中部 地区 2	ケーススタ ディ(2) 熱処 理と組織管理 (同上)	工場管理、品質 管理、CAE、 不良対策	1, 工場見学を通し、自社との優 劣を認識するとともに、改善 点を議論する 2, 自社での改善計画を立案する 3, その他(講師からの演習)	青山正治 (大同大学) 坂口康二 (元産業技術総合 研究所)
	中部 地区 3	小物鑄物のC AE活用事例	シミュレーショ ン、方案の最適 化、湯流れ解析、 不良対策	自動車部品のCAE活用による最 適化・不良対策の事例を通し、解 析での留意点とその効果を示す。 各社でのCAE導入の参考とする	青山佳照 (アイシン高丘)
	中部 地区 4	大物鑄物のC AE活用事例	シミュレーショ ン、方案の最適 化、湯流れ解析、 不良対策	工作機械等の大物鑄物製品のCA E活用による最適化・不良対策の 事例を通し、解析での留意点とそ の効果を示す。 各社でのCAE導入の参考とする。	菅野利猛 (木村鑄造所)
地区別科目	中国 四国 地区 1	CAEによる 鑄造方案と引 け巢予測	CAE、鑄造方案、 コンピューター シミュレーショ ン、押し湯、湯 流れ、引け巢、 鑄物の不良、欠 陥凝固、鑄造 欠陥、不良対策	CAEの鑄鉄への適用について、湯 流れ、凝固等で各種の例を用いて 説明し、シミュレーション結果の 見方、プロセス改善への活かし方 を理解する。鑄造方案や鑄物形 状の最適化のためのシミュレーシ ョンの基礎を習得する。CAEによ る鑄造方案と引け巢予測を修得 し、鑄物の不良や欠陥を発生させ ないための鑄造方案の考え方を修 得する。	木下慎一 (クオリカ)
	中国 四国 地区 2	消失模型鑄造 法：造形法、 鑄造方案と不 良対策	消失模型鑄造法 の特徴、消失模 型鑄造方の鑄造 欠陥と対策	消失模型鑄造法の特徴と鑄造条件 に対する基本的な考えと製品適用 事例。鑄物の不良や欠陥を発生 させないための鑄造条件の考えを 習得する。	山本康雄 (ツチヨシアクティ)
	中国 四国 地区 3	鑄鉄鑄造概論 (キュボラ溶 解理論と実 際)	鑄鉄溶解、キュ ボラ、炉内反応、 溶湯処理、微量 元素、炉前試験、 溶湯性状、溶湯 処理、材質、自 動車用鑄物、量 産鑄鉄鑄物	キュボラ、による鑄鉄溶解の原理 と、方法、炉内反応、溶湯性状お よび溶湯処理、材質の特徴、炉前 試験等について述べる。量産鑄 鉄鑄物特に自動車用鑄鉄の材質、 機能、鑄造欠陥について学ぶ。用 途及び軽量化に対して要求される 材質条件の理解を深め、製造方法 との関連について考察力を高め る。	田中裕一 (マツダ)
	中国 四国 地区 4	鑄鉄溶解概論 (誘導炉溶解 と実際)	鑄造溶解、電気 炉、炉内反応、 溶湯性状、溶湯 処理、微量元素、 炉前試験、製造 品、材質、鑄造 方案	誘導電気炉による鑄鉄溶解の原 理・方法、炉内反応、溶湯性状お よび溶湯処理、材質の特徴、炉前 試験などについて述べる。溶解 効率の向上や溶湯処理、微量元素 と溶湯性状の関連性について理解 を深める。大物鑄鉄鑄物につい ての鑄造法、欠陥、特性用途など について述べる。	佐野弘明 (三菱重工交通機 器エンジニアリング)

## 専門科目

科目	講義項目	キーワード	内容・到達目標	講師（予定）
鋳鋼 1	状態図と凝固	基本状態図 Fe-C 系 鋳造組織 樹枝結晶 熱処理組織	鋳鋼の凝固は樹枝状晶の生成として行われる。凝固過程で順次 相、相となり、ついで相とセメントイトとに分かれる。組織と材料特性の理解を高める。	新山英輔 （元東北大学教授）
鋳鋼 2	製鋼アーク炉操業	高温溶解 炉内雰囲気 の酸化・還元調整 酸素吹精精錬	アーク炉の稼動状況は平成元年に高周波炉にトップの座を譲り、現状は1～10T炉が大半を占めている。性状の良い溶鋼について解説する。	糸藤春喜 （東北大ACS）
鋳鋼 3	製鋼誘導炉操業	迅速加熱高温溶解 高熱効率 自動攪拌 多品種少量生産	鋳鋼品業界はこの高周波誘導炉へ集中化を進行させてきている。電力や生産性を考慮した現れである。溶鋼レベル、溶解能力、溶解技能などを解説	来栖直敏 （日本鋳造）
鋳鋼 4	中大鋳物造型	自硬性造型法の採用による造型 工法の比較・人工砂	発電用・船舶用に採用されている大物鋳鋼品の造型工法について解説し、自硬性鋳型の特長を把握する。枠の準備、塗型手順、型あわせ。	神田英喜 （川口金属工業）
鋳鋼 5	量産鋳物造型	生型工法による大量生産 生型砂の管理	自動車部品、機械部品、消耗部品などの小物鋳鋼品の製造、造型法について解説する。後工程の鋳仕上げ工程への配慮事項の実践。	佐藤一広 （福島製鋼）
鋳鋼 6	鋳造方案	鋳鋼品の鋳造方案 指向性凝固と欠陥 品質・コスト・納期	鋳造方案を決定するときに考慮すべき事項、遵守すべき手順等を習得する。基本方針の決定・健全性の確保・押し湯設計・湯口設計・重量計算と予算（見積もり額）	久保晴義 （神戸製鋼）
鋳鋼 7	鋳鋼の用途・展望	鋳鋼の特長を生かした用途 鋳鋼品の将来展望	鋳鋼の材質特長である靱性・溶接性を生かした機械・構造用部品に広く使用されている。鋳鋼品の多様化するニーズへ応える将来展望を解説	清水一道 （室蘭工大）
鋳鋼 8	低合金・特殊鋳鋼	耐熱・耐磨耗鋼鋳鋼品の種類と特性・その用途	近年注目を浴びている耐磨耗鋼・耐熱鋼等を挙げて材質の特長を詳細に解説する。溶解技術・鋳造技術の発展に基づく製品開発用途に触れる	麻生節夫 （秋田大学）
鋳鋼 9	ステンレス鋳鋼	ステンレス鋳鋼品の種類と特性・その用途	ステンレス鋼鋳鋼品は種類が多く、材料特性、製造法等を統一的に解説することは難しいが、マルテンサイト形・フェライト形・オーステナイト型・・・	宗 光彦 （伊藤機工）
鋳鋼 10	熱処理・調質	鋳放し組織と機械的性質 熱処理の種類と効果	鋳鋼品は必ず熱処理が必要である。その熱処理の種類と機械的性質について解説する。熱処理品の設計とその実際についても触れる。	山田恒二 （西島製作）
鋳鋼 11	鋳仕上げ・溶接	鋳鋼鋳仕上げ作業の高効率と温度管理 溶接補修と標準化	型ばらし後、鋳仕上げ工程は機械化・省人化が目覚ましい進歩を遂げている様子と管理項目について解説する。補修溶接の温度管理人材育成。	松井正毅 （松井技術士事務所）
鋳鋼 12	鋳鋼の欠陥と対策	欠陥の名称 欠陥現象例と対策 記録と是正処置	鋳鋼品の試験、検査、および鋳造欠陥とその対策について解説し理解を深める。同時に不良対策手法を習得し、品質向上へ努める。	小林良紀 （小林技術士事務所）



# 中国四国地区 共通講義 会場

広島県鋳物工業協同組合(広島県鋳物会館ビル 3F)

〒733-0013 広島県広島市西区横川新町 8-25

TEL:082-232-4235 FAX:082-234-4488

交通手段: JR横川駅 南口から徒歩 約5分



広島県鋳物会館ビル

広島市工業技術センター

〒730-0052 広島県広島市中区千田町 3-8-24

TEL:082-242-4170 FAX:082-245-7199

交通手段: JR広島駅 南口から路面電車(広島電鉄)紙屋町経由宇品行(約30~40分) 広電本社前  
または御幸橋で下車 徒歩約5分



広島市工業技術センター

# 鋳鋼コース 専門講義 会場(4地区合同)

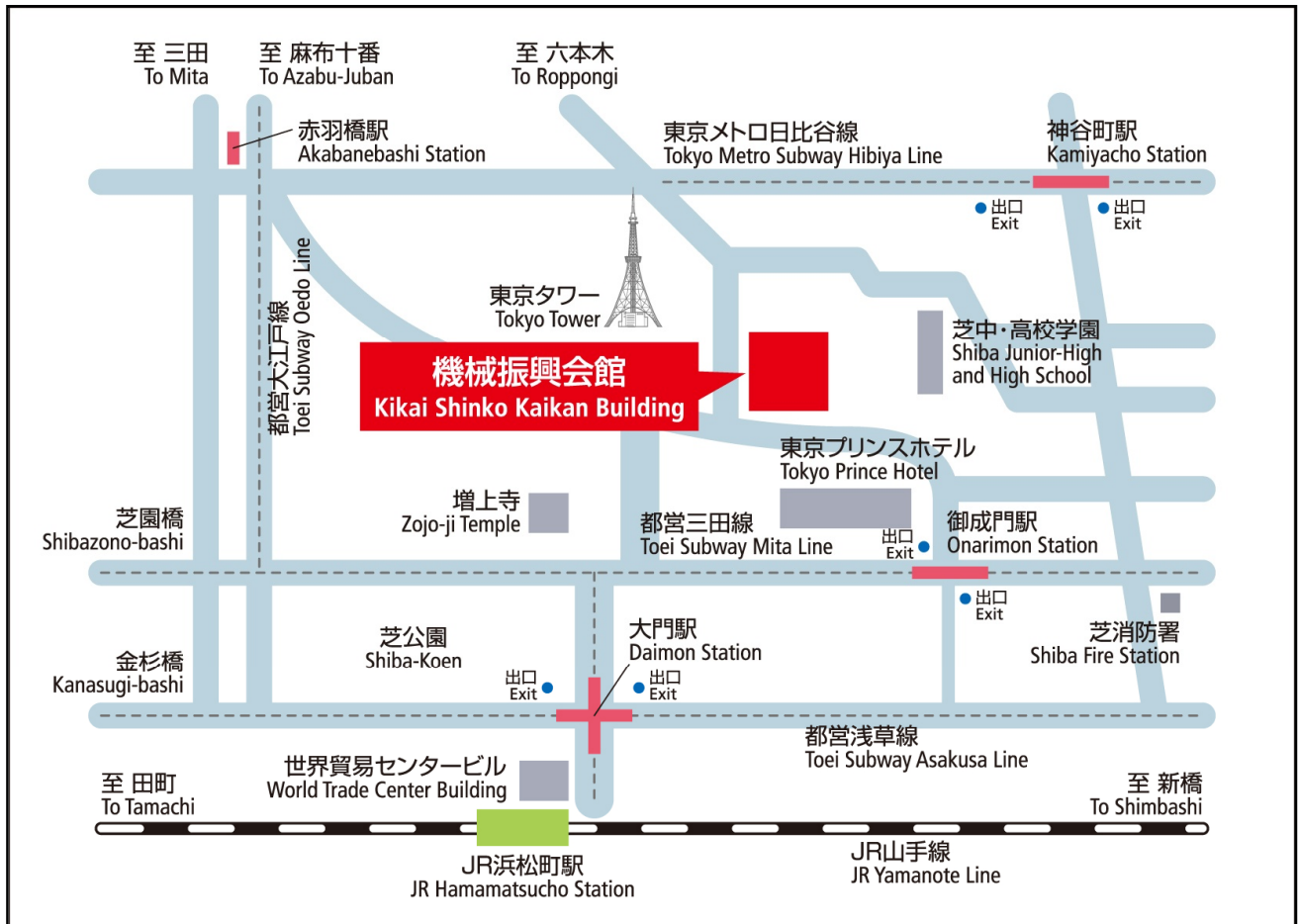
## 機械振興会館

〒105 - 0011

東京都港区芝公園3 - 5 - 8

TEL : 03 - 3434 - 8216

FAX : 03 - 3437 - 0813



## 交通手段

### 地下鉄

- ・日比谷線神谷町駅1番出口より徒歩8分
- ・三田線御成門駅A1出口より徒歩8分
- ・大江戸線赤羽橋駅赤羽橋口出口より徒歩10分
- ・浅草線・大江戸線大門駅A6出口より徒歩15分

### JR

- ・山手線・京浜東北線浜松町駅北口より徒歩20分

## 鋳鋼コース インターンシップ会場（4地区合同）

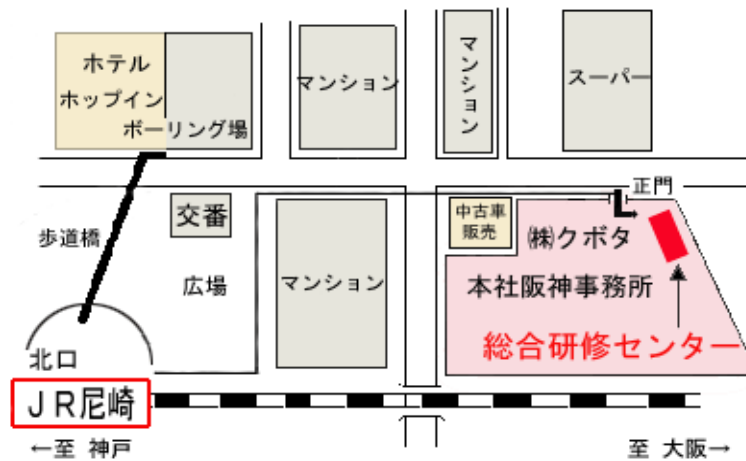
(株)クボタ教育センター  
クボタものづくり実習室  
クボタ鋳物道場

〒661 - 8567

兵庫県尼崎市浜1 - 1 - 1

TEL:06 - 6470 - 5960

FAX:06 - 6470 - 5966



### 交通手段

JR尼崎駅北口より徒歩約10分